

平成23年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	とちぎ生涯学習研究会
団 体 等 名	とちぎ生涯学習研究会
学生代表者氏名 (所属・学年)	後藤 和史 (宇都宮大学工学部・2年)
責任教職員氏名	藤井 佐知子 宇都宮大学教育学部

1. 事業名	第7回 緑を育てるための学生交流会
2. 実施時期	12月10日 (土)
3. 実施場所	宇都宮大学 峰キャンパス 峰ヶ丘講堂
4. 事業の内容等	<p>宇都宮大学峰ヶ丘講堂にて、「第7回 緑を育てるための学生交流会」を12月10日に開催いたしました。</p> <p>第1部「学生バンドによるチャリティーライブ」では、宇都宮大学のサークルだけでなく、</p> <p>第2部の「環境問題に関する講演会」では、宇都宮大学の進村武男学長をはじめ、社団法人栃木県造園建設業協会会長 高梨道太郎様、元衆議院議員 船田元様、そして栃木県知事 福田富一様をお招きして、環境問題を中心とした、これからの栃木県の環境を担うことになる学生たちへの力強いメッセージをいただきました。</p> <p>第3部では親睦会を通して、大学だけでなく県の枠を超えて親睦を深めることができました。</p> <p>活動実施状況はとちぎ生涯学習研究会の母体であるNPO法人とちぎ生涯学習研究会HPに記載してあります。 (http://www.geocities.jp/npo_lsst/midori.htm)</p>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>栃木県内19高等教育機関の学生を対象として、周知活動を行いました。県内からは宇都宮大学をはじめ、自治医科大学、獨協医科大学、作新学院大学、白鷗大学、県外からは筑波大学、東京農業大学、千葉大学といった大学の学生を含む100名もの参加者が集まりました。</p> <p>環境保全活動に取り組む学生の輪を広げることを目的として毎年開催しているこの交流会も、年々参加者の数が増加しています。チャリティーライブの中でも、各バンドに自分たちが取り組んでいる身近なエコ活動についてご照会いただき、参加者への啓発にもなりました。</p> <p>今後も、さらに多くの学生が環境問題に興味関心を持ってもらえるよう活動を継続していこうと考えております。</p>

- (注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。
2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。
報告書（添付書類を含む）はA4判5枚以内にまとめてください。
3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。